

平成19年度

第1回 中城湾港泡瀬地区環境保全・創造検討委員会

平成19年度 工事予定

平成19年8月9日

沖縄総合事務局 那覇港湾・空港整備事務所

沖縄県土木建築部

平成18年度までの進捗状況





【 ①仮設橋梁全景 】



【 ②仮設橋梁先端 】



【 写真撮影位置 】

余水吐・仮設棧橋・仮設道路・C護岸・緑地護岸



平成19年3月撮影

平成18年度施工状況写真(1)



汚濁防止膜設置



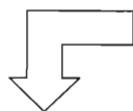
汚濁防止膜による濁り防止効果



石材投入

平成18年度施工状況写真(2)

大型土嚢汚濁防止膜設置



大型土嚢汚濁防止膜設置完了



石材投入

海上工事の濁り監視地点



仮設橋梁側からの工事および海上工事の濁り監視地点

- : St.1~7 (7地点) クビレミドロ監視地点
 - : St.8~18、21~25 (16地点) 工事の濁り監視地点
 - : St.A、19~20 (3地点) 流入部負荷量の調査地点
- *汚濁防止膜は設置予定位置の概略を示したものです。

台風4号通過に伴う中城湾港泡瀬地区整備事業の状況報告

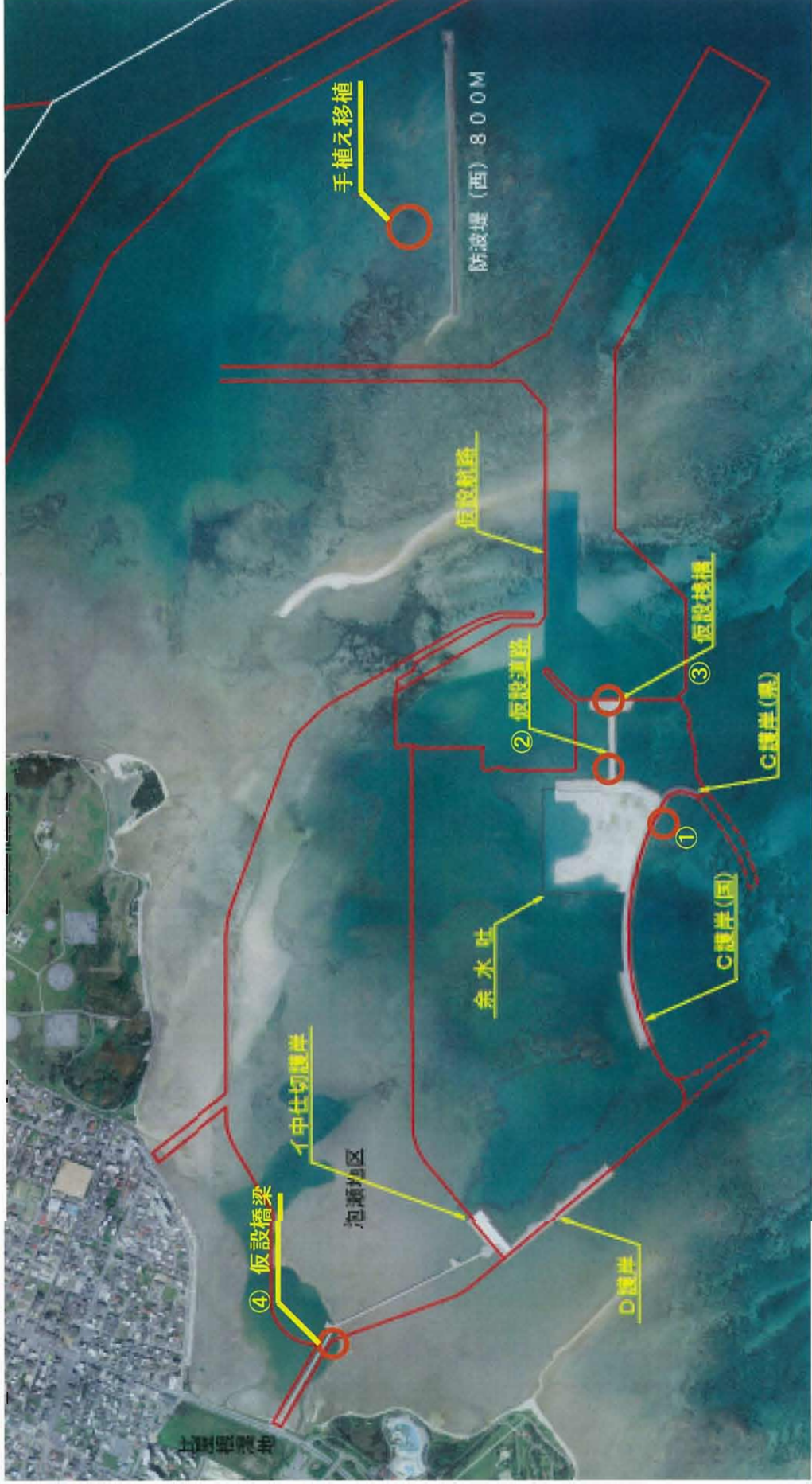
1. 手植え移植藻場の状況報告（手植え移植藻場の位置については資料－1参照）

- ・ 平成14年度に実施した手植え移植藻場については、移植藻場内に砂の堆積が見られる箇所がありましたが、移植藻場全体として大きなダメージは見られませんでした。（資料－2参照）

2. 工事箇所及び周辺海域の状況報告（各施設の位置については資料－1参照）

- ・ 泡瀬地区埋立外周護岸等（C護岸、D護岸、余水吐き、仮設道路）については、現在は施工中の暫定断面ですが、埋立外周護岸本体の崩壊はありませんでした。但し、護岸法面保護のためのブロックの移動や断面頂部の石材が波に叩かれたことによる多少の不陸が見られました。（資料－3の①、②参照）
- ・ 仮設栈橋については、コンクリート版546枚のうち27枚が移動していることを確認しました。（資料－3の③参照）
- ・ 仮設橋梁については、ガードレールの一部が転倒していることを確認しました。（資料－3の④参照）
- ・ 今後は、今年度工事の再開にあわせて、不陸の正整、コンクリート版及びガードレールを元に戻す作業を順次行う予定です。
- ・ なお、埋立地周辺海域を台風後緊急的に実施したダイバーによる概略的な目視調査の結果では、周辺海域への土砂の流失は確認されませんでした。

泡瀬地区全体位置図



台風4号通過後の手植え移植藻場の状況（1）



台風4号通過後の手植え移植藻場の状況（2）



①埋立外周護岸状況（C護岸）



②仮設道路頂部の不陸状況



③仮設栈橋コンクリート版の移動状況

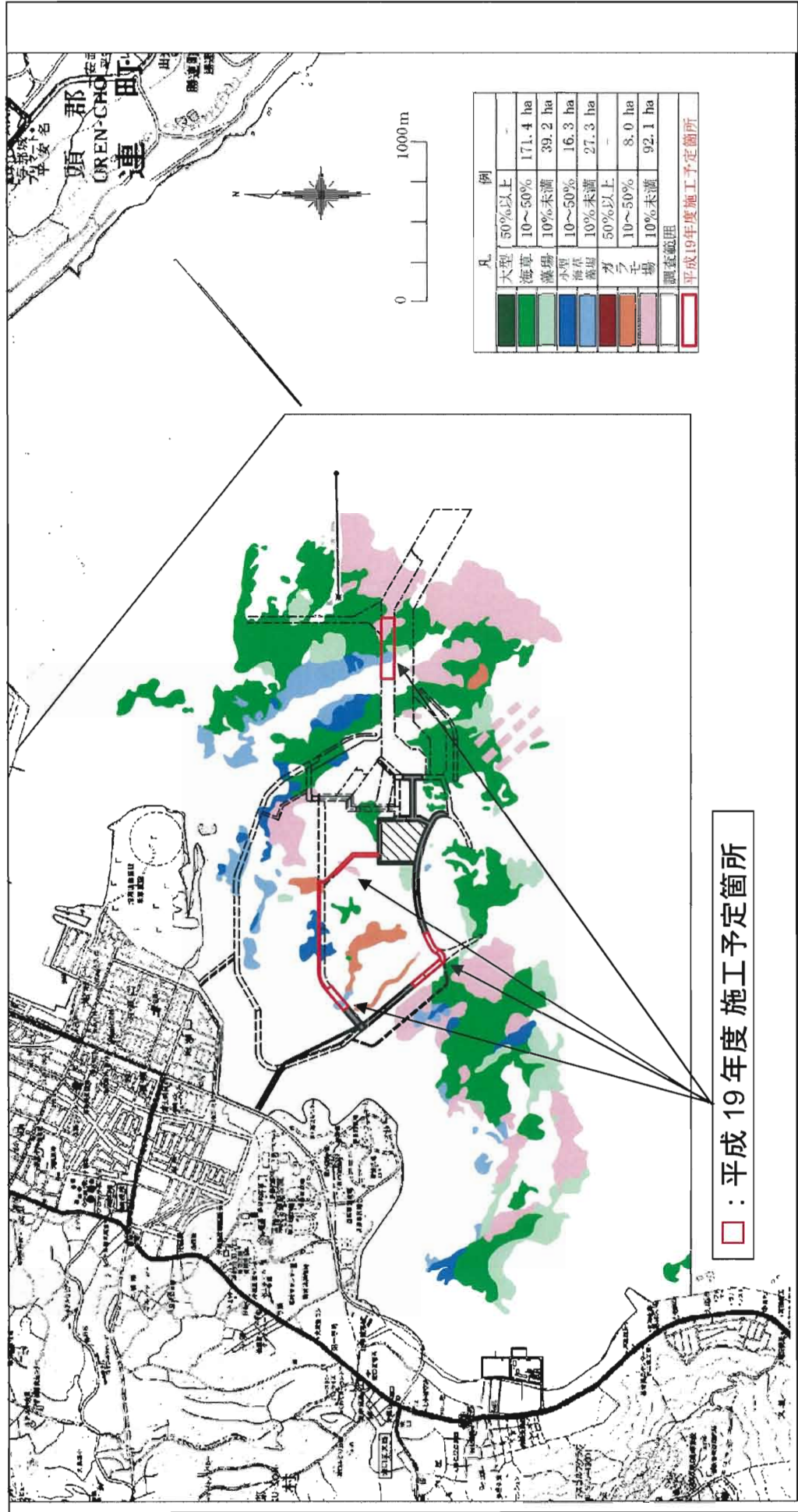


④仮設橋梁ガードレール転倒状況



平成19年度移植対象藻場について

- ・ 平成19年度施工予定箇所は被度50%超となる海草藻場の濃密生成域は確認されませんでした。



□ : 平成19年度 施工 予定箇所

図1 広域藻場分布調査結果および平成19年度施工予定箇所（平成19年5~6月）